

## 第3回 PD 諮問委員会 議事要旨

1. 日時： 平成 18 年 3 月 9 日（木） 15:00 ~ 18:30
2. 場所： (財)発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター 会議室
3. 議題：
  - 3.1 「第2回 PD 諮問委員会 議事要旨(案)」の確認
  - 3.2 「PD 諮問委員会規約（制定案）」の件
  - 3.3 PD 認証システムに係る件
    - 3.3.1 PD 認証機関事項（説明者：(社)日本非破壊検査協会 PD 認証機関）
    - 3.3.2 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項（説明者：(財)電力中央研究所 PD センター）
  - 3.4 PD 諮問委員会における議論の取りまとめ
  - 3.5 PD 資格試験実施状況の現場確認
  - 3.6 その他
4. 出席者（委員）：

宮委員長、青木委員、阿久津委員、荒川委員、小林委員、前原委員、三原田委員、庄子委員（委任状提出）
5. 議事概要
  - 5.1 「第2回 PD 諮問委員会 議事要旨(案)」の確認  
事務局が通読し、これを承認した。
  - 5.2 「PD 諮問委員会規約（制定案）」の件  
事務局から前回提出の本規約の修正箇所について説明し、これを承認した。
  - 5.3 PD 認証システムに係る件
    - 5.3.1 PD 認証機関事項
      - (1) 「PD 認証品質マニュアル（改正案）」

PD 認証機関が「PD 認証品質マニュアル」の見直し内容について説明した。この件について、PD 認証機関としての品質目標を明確にして欲しいとの意見が出され、PD 認証機関において品質目標を見直すこととした。
      - (2) PD 資格試験機関/PD 試験センターの現地審査の件  
PD 認証機関が「PD 資格試験機関/PD 試験センター現地審査の実施について」を説明し、3月13日、14日に現地審査を行うことが報告された。この件について以下の意見が出された。  
PD 認証機関が行う PD 資格試験機関/PD 試験センターの現地審査時には、PD 資格試験用試験体の確認を行う必要がある。また、PD 認証機関は PD 試験体のき裂深さ、個数が NDIS 0603 に規定されている条件を満たしていることをどのように確認するのか。  
これに対して、PD 認証機関から以下の回答があった。  
PD 試験体の現物にて、3種類の口径又は肉厚があることを確認する。また、受験者を特定しない形でのサンプリングにて、受験者一人分の試験体の組合せが満足していることを3月13日、14日のPD 資格試験機関/PD 試験センターの現地審査にて確認を行う。

(3) PD 認証審査の件

PD 認証機関が「PD 認証審査基準（改正案）」について説明し、一部文言の修正が求められた。

(4) PD 試験員の承認の件

PD 認証機関が「PD 試験員承認基準」について説明し、現在 3 名の PD 試験員が申請され承認していることを報告した。

(5) PD 研修プログラムの審査、承認の件

PD 認証機関が「PD 研修プログラム審査結果通知書」、「PD 研修プログラム承認証」により説明し、2 月 28 日付けにて PD 研修プログラムの承認証を発行したことを報告した。

5.3.2 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項

5.5 項における現場確認以外に特になし。

5.4 PD 諮問委員会における議論の取りまとめ

諮問委員が「PD 認証制度の実施に当たって(案)」について、PD 諮問委員会として公開すべき事項をまとめたことを説明し、審議の上修正してこれを承認した。

5.5 PD 資格試験実施状況の現場確認

PD 諮問委員会委員により、実際の試験実施状況及び PD 試験体の確認を行った。

以上